

おこやま発! 国際貢献

県の特性生かしNGOなど支援

10 おこやまけんこくさいか おこやまし
岡山県国際課(岡山市)

主幹 伊原良子 さん



県からの補助を受けて、ベトナムの子どもたちに歯科指導を行う
NPO法人「歯科ネットワーク岡山から世界へ」の活動の様子

岡山県国際課の事業

国際貢献活動の推進のほか、中国・江西省や韓国・慶尚南道、南オーストラリア州など友好提携先との国際交流を行っています。また、外国

人と日本人がお互いを認め合い共に地域で生活する「多文化共生」事業の推進、グローバル人材の育成、岡山国際交流センターの管理運営、旅券(パスポート)の発給など、幅広く事業を行っています。

県は活動費を助成して、岡山発の国際貢献活動が広がっていくように支援しています。また、開発途上国の地域の技

ネットワークより大きく

シリーズ最終回は、岡山県国際課主幹の伊原良子さんに寄稿してもらいました。

岡山県では、「岡山県国際貢献活動の推進に関する条例」を定め、国際貢献についてさまざまな取り組みを進めています。日本で生活しているとおま

り不自由を感じないかもしれま

せんが、世界の国々の中には、貧しくて学校に通えなかったり、必要な医療を受けられなかったりする国もあります。このように国に住む人々に対し、支援活動を行うNGO(非政府組織)などの団体が岡山県内にはたくさんあります。

岡山発の国際貢献活動が広がっていくように支援しています。また、開発途上国の地域の技術士が、講演会などを開催して、県民の皆さんに国際貢献について考えてもらうきっかけをつくらせたり、新しい活動に取り組んでもらったりすることも大切な仕事です。

岡山県は、医療・福祉・教育など、岡山県が得意な分野で現地のニーズに合った技術を提供します。帰国後、母国の発展に役立ててもらおうと、岡山県と母国との懸け橋になってもらうことを目指しています。

「にぎりえ・たけくらべ」

樋口一葉著 (新潮文庫)

い処へ行かれるのであらう、つまり、くたらぬ、面白くない、情ない悲しい心細い中に、何時まで私は止められてゐるのかしら」

切ない嘆きに寄り添う

「大つこもり」では、盗みとて罪を犯さなければならなくなつたお峯の苦しい胸のうちが描かれます。「神さま仏さま、私は悪人になります。成りたうは掛けれど成らねば成りませぬ」



「おあ嫌だ嫌だ嫌だ、どうしたなら人の声も聞えない物の音もしない、静かな、静かな、自分の心も何もぼつとつと物思ひのな

本の世界へようこそ

「奇跡の1年間」とか「奇跡の14ヶ月」という言葉があります。明治を代表する女性作家、樋口一葉(1872~96年)が活躍した期間を表します。わずか24歳のとき結婚でこの世を去りましたが、短い間に名作を次々に発表しました。

「にぎりえ・たけくらべ」

樋口一葉著 (新潮文庫)

「鬼」と呼ばれています。なぜ自分はこんなことをしているのか。最近店に通って来るようになった朝之助に、お力は自身の身の上を打ち明けます。